

埼鉄線全線で大規模ダイヤ改正

～速達性、快適、便利を追求したダイヤに～

平成30年3月30日

埼玉電鉄株式会社

埼玉電鉄株式会社(本社：埼玉県富士見市、以下：埼鉄線)では、埼玉横断線(埼玉東西クロスライン)、埼玉縦断線、新宿浦和線、川越館林線、館林足利線、八王子宮原線(埼玉東京ふるさとライン)、多摩富士見線の埼鉄線の7路線全線で平成30年4月9日に大規模ダイヤ改正を行います。新通勤ライナーの運行開始、東京高速線・神奈急線・茨城電鉄線の直通列車増加、新種別の新設、日中・夜間の緩急接続駅の新設を盛り込んだダイヤとなっています。

詳細は以下をご覧ください。

その1. 座席指定列車「埼玉通勤ライナー」・「富士見ライナー」運行開始

今回のダイヤ改正では、神奈急湘南本線の小田原駅、横須賀本線の神奈急久里浜駅、新宿浦和線の埼鉄新宿駅と、埼玉横断線(埼玉東西クロスライン)の埼玉富士見市駅、川越駅、埼鉄鶴ヶ島駅、川越館林線の館林駅、館林足利線の足利駅を結ぶ「埼玉通勤ライナー」、新宿浦和線の埼鉄新宿駅と埼玉横断線(埼玉東西クロスライン)の埼玉富士見市駅、ふじみ野駅間を結ぶ「富士見ライナー」の運行を開始します。

「埼玉通勤ライナー」・「富士見ライナー」は、浦和駅15分間隔で発車し、さいたま市・富士見市・ふじみ野市などの埼玉県東部・北部、群馬県の館林地域、栃木県の足利地域へ座っての帰宅ができるようになります。

その2. 日中・夜間の緩急接続駅を見直します

埼玉横断線(埼玉東西クロスライン)の緩急接続駅に日中は埼玉富士見市駅、夜間は南川越駅を追加し、**各駅停車**・**快速**と**急行**・**快速急行**など速達列車の接続を重視しました。

その3. 列車種別の新設

八王子宮原線(埼玉東京ふるさとライン)に、**通勤急行**、**快速急行**、**通勤快速**を新設し、高尾・八王子地域からつくば地域への通勤・通学がスムーズになります。

その4. 停車駅の見直し

埼玉横断線(埼玉東西クロスライン)の上福岡駅に朝夕のラッシュ時のみ急行と準急を、南大宮駅に朝夕のラッシュ時のみ快速を、南川越駅に**快速**・**準急**・**急行**・**快速急行**・**特急**を終日停車、また、川越館林線の**快速**に、入間川・吉見・武州荒木の3駅を追加し、武州荒木駅には、**快速**・**準急**・**急行**・**快速急行**・**特急**を終日停車、また、新宿浦和線でも、日大芸術学部前駅に**通勤急行**・**快速急行**を終日停車、日大医学部前駅に**急行**を終日停車、戸田競艇場駅に**急行**・**準急**を終日停車させるなど、停車駅を見直しました。

その5. 最終電車の見直し

新宿浦和線の最終電車の浦和駅到着時刻を西埼玉鉄道中武線の浦和駅発最終電車の時刻と調整するなど、最終電車の時刻を見直しました。

その他、八王子宫原線(埼玉東京ふるさとライン)の座席指定特急などの時刻などの見直しを行いました。

新しい路線図などは、作成が完了次第、埼玉電鉄公式ホームページに掲載いたします。また、平成30年4月1日新規開業の多摩富士見線については、ニュースリリースでダイヤ改正について詳細を発表します。